

経営比較分析表（令和5年度決算）

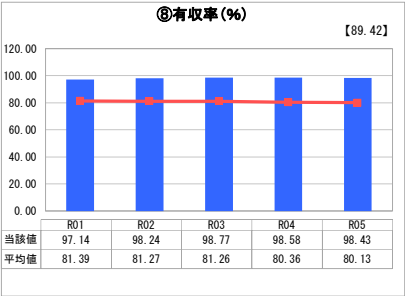
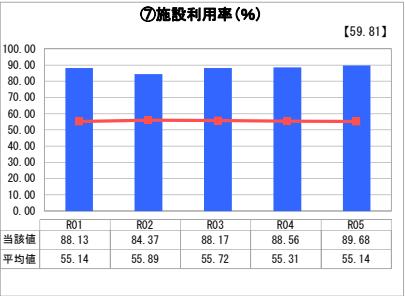
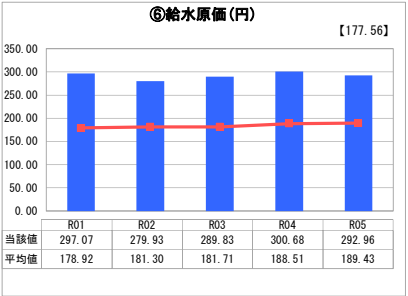
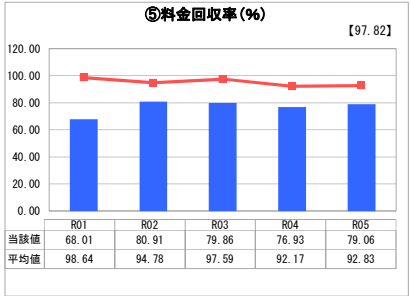
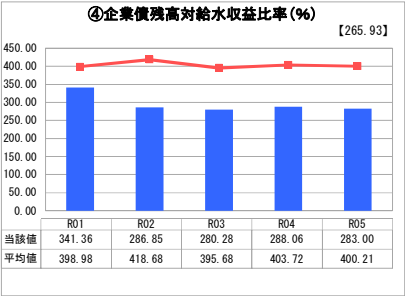
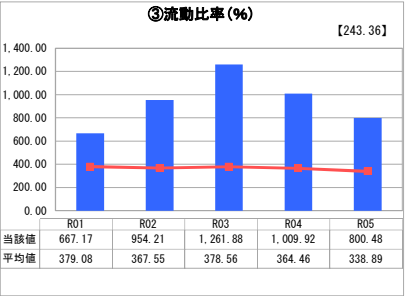
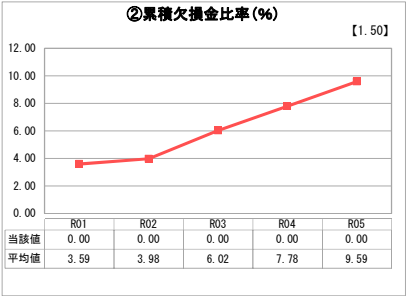
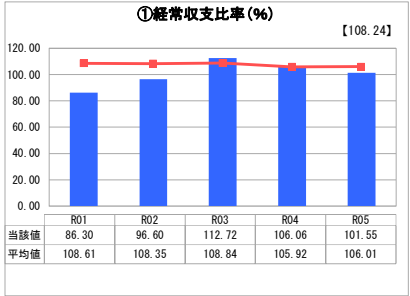
千葉県 白井市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	76.55	31.48	3,883	

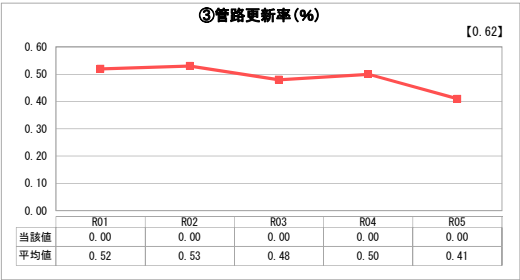
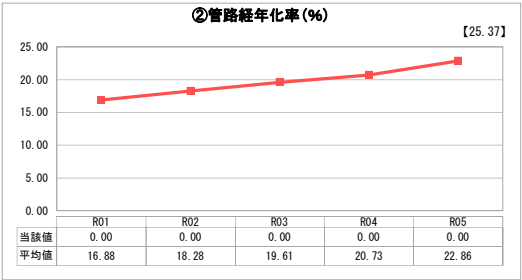
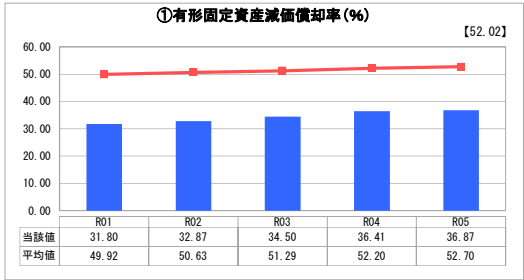
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
62,603	35.48	1,764.46
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
19,397	6.03	3,216.75

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

料金回収率は100%に達しておらず、類似団体の平均を下回っておりますが、令和2年4月に料金改定を実施して以降、数値は改善傾向にあります。令和5年度は、受水費単価の減額に伴い費用が減少したこと、給水原価は、類似団体の平均を上回る傾向にあります。これは、白井市に自己水源が無く、浄水を全量買い上げているためです。令和5年度は、受水費単価の減額に伴い費用が減少したこと、給水原価も低下しています。

累積欠損金比率は、0%を保っています。

企業債残高対給水収益比率は、配水場建設に伴う企業債借入により、令和元年度をピークに減少傾向となっています。令和5年度は、企業債借入額が企業債償還額以下であったことから、比率は低下しており類似団体の平均も下回っています。

流動比率は増加傾向でしたが、令和4年度以降は工事等の未払金が増加したこと、比率は減少していますが、類似団体の平均を上回っています。

施設利用率、有収率は、いずれも前年度並みとなり、類似団体の平均を大きく上回っていることから、経営の効率性は概ね良好と捉えています。

2. 老朽化の状況について

配水管の耐用年数が38年となり、法定耐用年数を経過した配水管が無い、管路経年化率・管路更新率の数値は計上されていません。

配水管総延長約100kmのうち、30年経過した配水管は28.2%（令和5年度末現在）となっています。

今後、法定耐用年数を経過する配水管が現れることから、令和5年度にアセットマネジメント計画を策定しました。

この中で、今後の水需要に応じた配水施設のダウンサイジング（管路口径の縮小）の検討を行い、法定耐用年数ではなく、市独自の更新基準年数や優先度を設定し、更新事業費を削減するとともに更新工事の開始予定時期を令和16年度からとしております。

全体総括

白井市は、自己水源が無い、浄水を全量買い上げていることから、給水原価が類似団体を大きく上回っています。

このため、料金回収率は過去5年間100%を下回っており、県や市の補助金等に依存しています。

経営改善を図るため、令和2年4月1日から水道料金改定（平均改定率15%）を実施しており、料金回収率は100%に満たないものの、改善傾向にあります。

また、令和5年度にアセットマネジメント計画を策定したことから、今後の更新需要を経営戦略に反映させるため、令和6年度から令和17年度までの2カ年をかけて、経営戦略の改定に取り組んでいます。